

市立小樽文学館 平成28年度 特別展

早川 三代治展

インターナショナルな知的表現者



早川三代治 ドイツからの帰国途上の船上にて 大正 13(1924)年 12月から翌年 1月

有島武郎を師と仰いだ青春時代。

ボンとベルリンで経済学を学び、演劇と音楽に心酔したドイツ留学時代。

北海道市町村の所得データを克明に調査分析し続けた傍ら、多くの戯曲と小説を著した壮年時代。

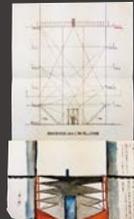
やがて長年の研究成果が国際的に認められた早川は、その晩年、再び有島武郎の生涯に真正面から向き合おうとした—



早川三代治の著作 左より『トレ グラチエ』『聖女の肉体』『ラインのほとり』



ノルウェー・クドバンゲンにて (北欧旅行アルバム所収、1922年)



戯曲「白い塔」のための自筆舞台装置画



戯曲「白い塔」のための自筆舞台画



戯曲「新しき繩」舞台写真 (1933年)主演・花柳草太郎(右)

会期 2016年 5月21日[土] ~ 7月24日[日]

■ 会 場：市立小樽文学館 (〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号 電話：0134-32-2388)

■ 休館日：毎週月曜日 (7月18日を除く)、7月19日 (火)、7月20日 (水)

■ 入館料：一般 300円 / 高校生・小樽市内の高齢者 (70歳以上) 150円 / 中学生以下無料

早川三代治展関連パネル展 「有島武郎と小樽・後志の作家・画家」

- 会期 2016年5月20日(金)~6月5日(日)
- 会場：JR 小樽駅コンコース
- 観覧無料

記念講演会 2016年7月1日(金) 18:00~ 会場 小樽商科大学附属図書館 講演者 江頭 進 (小樽商科大学教授) / 亀井 志乃 (市立小樽文学館主幹学芸員)